



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 日本シエムケイ株式会社
 コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理担当 (氏名) 山口 喜久 TEL 03-5323-0231
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	69,967	15.3	1,676		1,511		1,868	
2020年3月期	82,619	8.4	1,601	57.5	792	79.0	1,128	

(注) 包括利益 2021年3月期 2,911百万円 (%) 2020年3月期 150百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	31.57		3.8	1.6	2.4
2020年3月期	19.06		2.2	0.8	1.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	96,501	51,519	49.8	811.53
2020年3月期	96,044	54,932	53.6	869.17

(参考) 自己資本 2021年3月期 48,039百万円 2020年3月期 51,451百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,420	3,185	1,162	17,466
2020年3月期	5,576	8,523	5,922	16,694

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		6.00	6.00	355		0.7
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00		29.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	7.2	1,500		1,400		1,000		16.89

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	63,060,164 株	2020年3月期	63,060,164 株
期末自己株式数	2021年3月期	3,864,583 株	2020年3月期	3,864,028 株
期中平均株式数	2021年3月期	59,195,863 株	2020年3月期	59,196,490 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	42,020	8.1	1,969		1,018		1,163	
2020年3月期	45,738	9.2	1,113		864		1,572	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	19.66	
2020年3月期	26.57	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	78,588		39,209		49.9		662.38	
2020年3月期	70,500		37,988		53.9		641.74	

(参考) 自己資本 2021年3月期 39,209百万円 2020年3月期 37,988百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21
5. 役員の変動	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経済活動が制限される中、徐々に景気の持ち直しの動きが見られていましたが、感染の再拡大に伴い、事態収束の兆しは見え、依然として不透明な状況が続いております。世界経済においても、段階的な経済活動の再開により回復の兆しが見られる一方で、感染の再拡大に加え、米中貿易摩擦の長期化により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においても、自動車販売が中国においてはいち早く回復し、日本においても回復基調にあります。世界全体では未だ低調に推移しております。

当社グループは、車載向けの販売が減少し、連結売上高は699億67百万円(前年同期比15.3%の減収)となりました。

利益面につきましては、固定費削減等を推進したものの、売上高の減少の影響などにより、営業損失は16億76百万円(前年同期は16億1百万円の営業利益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常損失は15億11百万円(前年同期は7億92百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は18億68百万円(前年同期は11億28百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

国内の自動車販売台数は回復基調にあるものの、累計期間では減少した影響などにより、車載向けの販売が減少し、売上高は433億84百万円(前年同期比8.1%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント損失は10億69百万円(前年同期は21百万円のセグメント損失)となりました。

(中国)

中国の自動車販売台数は回復したものの、累計期間では減少した影響などにより、当社においては車載向けの販売が減少し、売上高は125億8百万円(前年同期比16.0%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は5億32百万円(前年同期比72.1%の減益)となりました。

(東南アジア)

タイの自動車販売台数が減少した影響などにより、車載向けの販売が大幅に減少し、売上高は101億33百万円(前年同期比31.0%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント損失は7億82百万円(前年同期は15百万円のセグメント損失)となりました。

(欧米)

欧州、米国共に、自動車販売台数が減少した影響などにより、車載向けの販売が減少し、売上高は39億40百万円(前年同期比32.5%の減収)となりました。利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は1億89百万円(前年同期比39.8%の減益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末の960億44百万円に対して4億56百万円増加し、965億1百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が9億99百万円、現金及び預金が7億72百万円、仕掛品が1億51百万円それぞれ増加し、有形固定資産が14億83百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末の411億11百万円に対して38億69百万円増加し、449億81百万円となりました。これは主に電子記録債務が26億83百万円、支払手形及び買掛金が13億82百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末の549億32百万円に対して34億12百万円減少し、515億19百万円となりました。これは主に利益剰余金が22億23百万円、為替換算調整勘定が16億30百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末の166億94百万円に対して7億72百万円増加し、174億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、34億20百万円(前連結会計年度は55億76百万円の増加)となりました。これは主に減価償却費44億75百万円、仕入債務の増加額42億11百万円による資金の増加、その他に含まれる未払金の減少額33億75百万円、売上債権の増加額14億8百万円による資金の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、31億85百万円(前連結会計年度は85億23百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出36億72百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は、11億62百万円(前連結会計年度は59億22百万円の減少)となりました。これは主に借入れによる収入137億19百万円、借入金の返済による支出112億14百万円、社債の償還による支出13億52百万円による資金の減少などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	51.5	55.5	49.9	53.6	49.8
時価ベースの自己資本比率(%)	45.0	52.1	36.4	27.4	29.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.3	3.3	4.0	4.4	7.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	18.8	23.0	25.8	21.4	14.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済は、新型コロナウイルスの再拡大や米中貿易摩擦の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループ主力の車載市場においては、世界的な半導体不足に伴う影響が懸念されるものの、自動車の電装化進展などにより、中長期的には需要が拡大する見通しです。

このような状況の中、当社グループは、車載市場の中でも特に高い品質と信頼性が要求される分野において、販売拡大を見込んでおります。また、生産性の向上や徹底した経営合理化などにより収益改善を推し進めてまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高750億円、営業利益15億円、経常利益14億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円を予想しております。

なお、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は主として定率法を採用していましたが、2022年3月期より定額法に変更する予定であります。この変更により、2022年3月期の減価償却費は従来の方法と比べて約9億円減少する見込みであり、上記業績見通しは当該変更を織り込んで算定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要政策の一つとして認識しており、経営体質の強化と将来の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、業績や財務状況等を勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

しかしながら、2021年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により受注が急減し、固定費削減等を推進したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したため、誠に遺憾ではございますが見送りとさせていただきます。

また、次期の配当につきましては、年間1株当たり5円（中間配当0円、期末配当5円）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,694	17,466
受取手形及び売掛金	18,771	19,771
電子記録債権	1,617	1,622
商品及び製品	4,529	4,320
仕掛品	3,592	3,744
原材料及び貯蔵品	2,434	2,223
その他	1,080	1,286
貸倒引当金	△56	△116
流動資産合計	48,665	50,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,882	52,481
減価償却累計額	△40,602	△41,114
建物及び構築物(純額)	12,279	11,367
機械装置及び運搬具	71,156	68,470
減価償却累計額	△54,472	△52,356
機械装置及び運搬具(純額)	16,683	16,113
工具、器具及び備品	5,348	5,360
減価償却累計額	△4,131	△4,172
工具、器具及び備品(純額)	1,217	1,188
土地	8,253	7,979
建設仮勘定	2,618	2,919
有形固定資産合計	41,052	39,568
無形固定資産		
のれん	116	81
その他	220	254
無形固定資産合計	337	335
投資その他の資産		
投資有価証券	2,318	2,830
退職給付に係る資産	1,119	1,193
繰延税金資産	67	62
その他	2,482	2,184
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	5,959	6,242
固定資産合計	47,349	46,147
繰延資産		
社債発行費	29	35
繰延資産合計	29	35
資産合計	96,044	96,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,761	11,144
電子記録債務	—	2,683
短期借入金	4,455	3,912
1年内償還予定の社債	1,352	4,572
未払金	3,741	2,432
リース債務	230	165
未払法人税等	246	109
賞与引当金	510	546
事業構造再編費用引当金	126	124
その他	666	569
流動負債合計	21,091	26,261
固定負債		
社債	5,023	1,200
長期借入金	13,206	16,267
リース債務	183	16
繰延税金負債	1,030	639
退職給付に係る負債	93	104
資産除去債務	449	451
その他	33	39
固定負債合計	20,020	18,720
負債合計	41,111	44,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,628	16,628
利益剰余金	12,671	10,448
自己株式	△3,135	△3,135
株主資本合計	48,471	46,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	446	866
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	2,262	632
退職給付に係る調整累計額	270	292
その他の包括利益累計額合計	2,979	1,791
非支配株主持分	3,480	3,480
純資産合計	54,932	51,519
負債純資産合計	96,044	96,501

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	82,619	69,967
売上原価	71,678	63,011
売上総利益	10,941	6,956
販売費及び一般管理費	9,340	8,632
営業利益又は営業損失(△)	1,601	△1,676
営業外収益		
受取利息	26	14
受取配当金	88	81
為替差益	—	122
受取賃貸料	77	76
その他	283	422
営業外収益合計	476	717
営業外費用		
支払利息	259	242
為替差損	278	—
操業停止関連費用	387	—
その他	359	309
営業外費用合計	1,285	552
経常利益又は経常損失(△)	792	△1,511
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	17	189
特別利益合計	17	195
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	192	383
減損損失	—	293
損害賠償金	39	19
特別損失合計	232	703
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期 純損失(△)	577	△2,019
法人税、住民税及び事業税	565	231
過年度法人税等	50	59
法人税等調整額	788	△543
法人税等合計	1,404	△252
当期純損失(△)	△826	△1,767
非支配株主に帰属する当期純利益	301	100
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,128	△1,868

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△826	△1,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292	419
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	931	△1,586
退職給付に係る調整額	37	22
その他の包括利益合計	676	△1,143
包括利益	△150	△2,911
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△356	△3,056
非支配株主に係る包括利益	205	145

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	22,306	16,628	14,451	△3,134	50,251
当期変動額					
剰余金の配当			△651		△651
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,128		△1,128
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,779	△0	△1,779
当期末残高	22,306	16,628	12,671	△3,135	48,471

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	739	0	1,235	233	2,208	3,389	55,849
当期変動額							
剰余金の配当							△651
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)							△1,128
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△292	0	1,027	37	771	90	862
当期変動額合計	△292	0	1,027	37	771	90	△917
当期末残高	446	0	2,262	270	2,979	3,480	54,932

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	22,306	16,628	12,671	△3,135	48,471
当期変動額					
剰余金の配当			△355		△355
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,868		△1,868
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△2,223	△0	△2,223
当期末残高	22,306	16,628	10,448	△3,135	46,247

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	446	0	2,262	270	2,979	3,480	54,932
当期変動額							
剰余金の配当							△355
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)							△1,868
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	419	0	△1,630	22	△1,188	△0	△1,189
当期変動額合計	419	0	△1,630	22	△1,188	△0	△3,412
当期末残高	866	0	632	292	1,791	3,480	51,519

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	577	△2,019
減価償却費	4,721	4,475
のれん償却額	34	34
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	36
貸倒引当金の増減額(△は減少)	39	64
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△99	△31
受取利息及び受取配当金	△115	△95
支払利息	259	242
為替差損益(△は益)	158	△128
固定資産売却損益(△は益)	△0	1
固定資産除却損	192	383
減損損失	—	293
売上債権の増減額(△は増加)	3,832	△1,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196	57
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,373	4,211
未払消費税等の増減額(△は減少)	107	△133
その他	164	△1,949
小計	6,316	4,031
利息及び配当金の受取額	115	95
利息の支払額	△260	△242
法人税等の支払額	△594	△464
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,576	3,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,261	△3,672
有形固定資産の売却による収入	6	70
無形固定資産の取得による支出	△52	△112
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却及び償還による収入	26	257
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△231	282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,523	△3,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,513	8,399
短期借入金の返済による支出	△6,513	△8,399
長期借入れによる収入	—	5,320
長期借入金の返済による支出	△3,194	△2,815
社債の発行による収入	—	724
社債の償還による支出	△602	△1,352
債権売却の増減額 (△は減少)	△1,142	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△216	△212
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△650	△355
非支配株主への配当金の支払額	△114	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,922	1,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	128	△625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,741	772
現金及び現金同等物の期首残高	25,436	16,694
現金及び現金同等物の期末残高	16,694	17,466

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に含めておりました「電子記録債権」は、連結貸借対照表の明瞭性を高めるため、当連結会計年度より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示していた203億89百万円は、「受取手形及び売掛金」187億71百万円、「電子記録債権」16億17百万円として組み替えております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、現時点で当社グループに及ぼす影響及び当感染症の収束時期を予測することは困難ですが、翌連結会計年度(2022年3月期)の一定期間にわたり当感染症の影響が継続するという一定の仮定に基づいて、当連結会計年度(2021年3月期)の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にプリント配線板を生産・販売しており、国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においては中国、東南アジア、欧米の各地域を現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売の管理体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「東南アジア」及び「欧米」の4つを当社の報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,216	14,891	14,676	5,835	82,619	—	82,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,076	13,657	10,108	3	24,847	△24,847	—
計	48,293	28,549	24,785	5,838	107,466	△24,847	82,619
セグメント利益又は損失(△)	△21	1,904	△15	313	2,181	△580	1,601
セグメント資産	83,425	26,431	25,437	4,086	139,381	△43,337	96,044
その他の項目							
減価償却費	1,508	1,146	2,061	4	4,721	—	4,721
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,195	2,734	4,382	—	8,313	—	8,313

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△580百万円には、セグメント間取引消去581百万円、全社費用△1,161百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△43,337百万円には、セグメント間取引消去△50,953百万円、各報告セグメントに帰属しない全社資産7,616百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,384	12,508	10,133	3,940	69,967	—	69,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	919	10,803	9,236	9	20,968	△20,968	—
計	44,304	23,312	19,369	3,949	90,935	△20,968	69,967
セグメント利益又は損失(△)	△1,069	532	△782	189	△1,131	△545	△1,676
セグメント資産	85,932	24,149	23,133	3,901	137,116	△40,615	96,501
その他の項目							
減価償却費	1,461	1,239	1,771	3	4,475	—	4,475
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,510	1,334	926	14	3,785	—	3,785

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△545百万円には、セグメント間取引消去623百万円、全社費用△1,169百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△40,615百万円には、セグメント間取引消去△53,160百万円、各報告セグメントに帰属しない全社資産12,544百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	欧米	合計
47,132	14,125	13,722	7,639	82,619

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	欧米	合計
16,617	10,410	14,018	7	41,052

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社デンソー	17,809	日本
株式会社ネクスティエレクトロニクス	9,068	日本

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	欧米	合計
42,467	11,907	9,931	5,659	69,967

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	欧米	合計
16,964	10,325	12,269	9	39,568

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社デンソー	18,755	日本
株式会社ネクスティエレクトロニクス	8,258	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
減損損失	293	—	—	—	293	—	293

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
(のれん)							
当期償却額	0	16	5	13	35	—	35
当期末残高	—	31	37	55	124	—	124
(負ののれん)							
当期償却額	—	—	0	0	0	—	0
当期末残高	—	—	3	3	7	—	7

(注) のれん及び負ののれん、のれん償却額及び負ののれん償却額は、連結財務諸表上それぞれ相殺しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
(のれん)							
当期償却額	—	15	5	13	34	—	34
当期末残高	—	14	32	41	88	—	88
(負ののれん)							
当期償却額	—	—	0	0	0	—	0
当期末残高	—	—	3	3	6	—	6

(注) のれん及び負ののれん、のれん償却額及び負ののれん償却額は、連結財務諸表上それぞれ相殺しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	869.17円	811.53円
1株当たり当期純損失金額(△)	△19.06円	△31.57円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△1,128	△1,868
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△1,128	△1,868
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,196	59,195

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	54,932	51,519
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	3,480	3,480
(うち非支配株主持分(百万円))	(3,480)	(3,480)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	51,451	48,039
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	59,196	59,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,084	8,884
受取手形	400	52
電子記録債権	1,518	1,516
売掛金	12,448	14,009
商品及び製品	2,022	2,296
仕掛品	1,504	1,486
原材料及び貯蔵品	1,134	936
前払費用	135	136
未収入金	491	1,027
その他	59	229
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,798	30,574
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,894	4,624
構築物	381	377
機械及び装置	1,583	1,854
車両運搬具	1	3
工具、器具及び備品	166	147
土地	7,298	7,071
建設仮勘定	492	1,319
有形固定資産合計	14,817	15,398
無形固定資産		
特許権	0	—
借地権	8	8
施設利用権	0	0
ソフトウェア	1	91
ソフトウェア仮勘定	87	4
無形固定資産合計	98	104
投資その他の資産		
投資有価証券	2,299	2,828
関係会社株式	14,964	14,961
関係会社出資金	3,914	3,914
関係会社長期貸付金	7,644	8,032
破産更生債権等	5	5
保険積立金	2,246	1,962
長期前払費用	559	583
繰延税金資産	—	57
その他	153	157
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	31,757	32,475
固定資産合計	46,673	47,978
繰延資産		
社債発行費	29	35
繰延資産合計	29	35
資産合計	70,500	78,588

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	98	38
電子記録債務	—	2,683
買掛金	5,059	6,968
短期借入金	1,632	1,660
1年内返済予定の長期借入金	2,702	2,137
関係会社短期借入金	—	1,297
1年内償還予定の社債	1,352	4,572
未払金	2,072	1,318
未払法人税等	132	98
未払消費税等	165	46
未払費用	101	109
預り金	60	104
賞与引当金	428	493
設備関係支払手形	2	37
その他	0	27
流動負債合計	13,811	21,596
固定負債		
社債	5,023	1,200
長期借入金	13,085	16,267
繰延税金負債	286	—
資産除去債務	271	274
その他	33	39
固定負債合計	18,701	17,782
負債合計	32,512	39,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金		
資本準備金	13,495	13,495
その他資本剰余金	3,132	3,132
資本剰余金合計	16,628	16,628
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,734	2,543
利益剰余金合計	1,734	2,543
自己株式	△3,135	△3,135
株主資本合計	37,534	38,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	454	866
繰延ヘッジ損益	0	0
評価・換算差額等合計	454	867
純資産合計	37,988	39,209
負債純資産合計	70,500	78,588

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	45,738	42,020
売上原価	41,995	39,273
売上総利益	3,743	2,746
販売費及び一般管理費	4,857	4,716
営業損失(△)	△1,113	△1,969
営業外収益		
受取利息	188	161
受取配当金	382	2,128
受取賃貸料	92	86
技術指導料	636	496
その他	160	584
営業外収益合計	1,462	3,457
営業外費用		
支払利息	230	206
社債利息	30	25
減価償却費	4	4
為替差損	323	—
租税公課	35	70
支払手数料	129	103
操業停止関連費用	387	—
その他	73	59
営業外費用合計	1,213	469
経常利益又は経常損失(△)	△864	1,018
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	17	189
抱合せ株式消滅差益	—	71
特別利益合計	17	266
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	23	256
減損損失	—	293
損害賠償金	11	—
特別損失合計	34	556
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△881	729
法人税、住民税及び事業税	131	55
法人税等調整額	559	△489
法人税等合計	690	△434
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,572	1,163

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	22,306	13,495	3,132	16,628	3,958	3,958	△3,134
当期変動額							
剰余金の配当					△651	△651	
当期純損失(△)					△1,572	△1,572	
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	△2,223	△2,223	△0
当期末残高	22,306	13,495	3,132	16,628	1,734	1,734	△3,135

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	39,758	742	0	742	40,500
当期変動額					
剰余金の配当	△651				△651
当期純損失(△)	△1,572				△1,572
自己株式の取得	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		△287	0	△287	△287
当期変動額合計	△2,224	△287	0	△287	△2,512
当期末残高	37,534	454	0	454	37,988

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	22,306	13,495	3,132	16,628	1,734	1,734	△3,135
当期変動額							
剰余金の配当					△355	△355	
当期純利益					1,163	1,163	
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	808	808	△0
当期末残高	22,306	13,495	3,132	16,628	2,543	2,543	△3,135

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	37,534	454	0	454	37,988
当期変動額					
剰余金の配当	△355				△355
当期純利益	1,163				1,163
自己株式の取得	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		412	0	412	412
当期変動額合計	808	412	0	412	1,220
当期末残高	38,342	866	0	867	39,209

5. 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2021年6月25日予定)

1 新任取締役候補

手戸 邦彦 (現 当社執行役員)

山口 喜久 (現 当社執行役員)

石坂 嘉章 (現 当社執行役員)

2 新任監査役候補

岡部 明広 (現 新昇電子(香港)有限公司 董事長)

新昇電子貿易(深圳)有限公司 董事長

旗利得電子(東莞)有限公司 董事長)

山梨 雄司 (現 東京きらぼしリース株式会社 監査役)

きらぼしシステム株式会社 監査役)

きらぼしJCB株式会社 監査役)

芦辺 真幸 (現 銀泉株式会社 代表取締役兼副社長執行役員)

(注) 山梨 雄司氏および芦辺 真幸氏は、会社法第2条第16号に規定する社外監査役の候補者であります。

3 退任予定取締役

白井 孝浩 (当社理事に就任予定)

4 退任予定監査役

大高 由紀夫

押味 由佳子 (当社補欠監査役に就任予定)